

りんご畑の平屋の家



農作業に疲れて勝手口を開ければ、薪ストーブのぬくもりに包まれる土間サロン。リビングの先には、丹精込めて育てたりんご畑に臨む縁側。仕事場である農園とひとつながりになるマイホームだからこそ、ほっと心やすらぐ空間づくりを大切に考えたK様邸を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.92



すっきりシンプルにまとめた外観が美しく、元からあるご実家建物や庭木とも違和感なく馴染む。



K様ご家族 / ご夫婦2人住まい
建設地 / 松本市今井 営業 / 船田亜美
竣工 / H29年5月 | C / 織部聖奈
敷地面積 / 102.79坪 プランナー / 酒井千織
延床面積 / 23.98坪 施工 / 中尾瑠維

家づくりのきっかけを教えてください！

ご主人 アパートに8年ほど住みましたが、もっと快適な家に住みたい、どうせなら自分たちの資産になる持ち家を、という思いがありました。消費税増税も気になってきたので、アパート脱出計画を始めました。当初は実家のリフォームを検討したのですが、築80年以上の建物に現代の耐震性を備えようとするのはかなり大変で…。隣に夫婦だけの小さな家を作る方がスマートではないかという結論になりました。

奥様 農作業しながら聞くAMラジオでフォレストコーポレーションの名前はよく耳にしており、県産材の家づくりに興味を持っていました。住宅公園で大手メーカー数社のあと工房信州の家を見て、木のぬく

もりに満ちた雰囲気「絶対にこの家がいい！」と私は直感しました。その場では平静を装っていましたが(笑)

ご主人 私が工房信州に決めたのは打合せを始めてからです。最初にご提示いただいた資金計画がとても細かく、具体的な話ができて安心しました。他社さんでは、後から思わぬ費用がかかって最終的に予算オーバー…という話をよく聞きますが、そうした不安が一切ありませんでした。

奥様 営業担当の船田さんは物腰が柔らかく親身になってくれてとても良かったのですが、打合せの最後、私たちが意思決定をする場面になると一転、真剣な眼差しに切り替わったことを印象的に今でも覚えています。良い家を作ってさせてあげたい、という強い思いが伝わって嬉しかったですね。



プランニングのこだわりは？

ご主人 基本的にはひとつながりのオープンな空間なのですが、二畳弱の書斎だけはこもり部屋として落ち着いたデザインにしました。また、建具や照明のステンドグラスは木の雰囲気ともよくマッチして、気に入っています。



奥様 私は板張り天井や幅広の床板など、木の安らぎに満ちた空間全体がお気に入り。新しいのに体馴染みが良くて、慌ただしい日々の疲れを癒してくれる大切な家です。



奥まった位置の書斎はデザインテイストをがらりと変えたシックな趣。デスクワークにも読書にも最適。



担当 船田亜美

会社をお決めいただくときに奥様が涙され(もちろん私ももらい泣き)、良い家づくりをしましょうとご夫婦と誓いました。K様と二人三脚の家づくりができたという実感があります。

Focus on the Owner!!

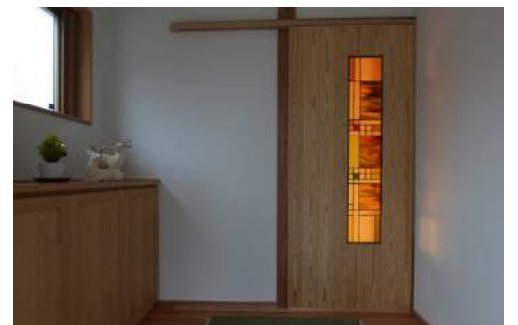
3ヘクタールの畑で十種類以上のりんごを育てる専門農家。「りんごは蜜入りが重宝されがちですが、足が早いという欠点も。他にも美味しい品種はたくさんあり、バラエティ豊かなりんごの美味しさを広めたい」とK様。



勝手口に入った土間サロンがK様の玄関代わり。汚れた作業着を着替え炎にぬくもりながらお茶休憩もできる、多機能な場。



斜天井と大きな掃き出し窓で、平屋とは思えない開放感あるリビング。床、壁、天井まで木のぬくもり溢れる。



ご主人が二週間かけて自作したステンドグラスが映える玄関。

